

カヌー、岩の滑り台、ジャム作り……

自然体験が人気



「キャンプinn海山」で人気のカナディアンカヌー

三重・紀北 キャンプinn海山

三重県紀北町海山区のオートキャンプ場「キャンプinn海山」の昨年度の稼働率が過去最高になった。自然を生かした体験プログラムが人気を集めたとみられる。これから本格的に始まるアウトドアシーズンを前に、同町はさらなる利用者の増加に期待を寄せている。

出会い 古里

同キャンプ場は1998年、町内を流れる銚子川沿いに町営の施設としてオープンした。昨年度から指定管理者制度を導入し、非営利組織（NPO）法人「ふるさと企画舎」が運営している。これまでキャンプサイトやコテージの利用状況を示す稼働率は10%前後を推移してきたが、昨年度は11・65%となり、過去最高となった。利用者数は1万7807人。昨年は7月に台風の影響で施設を一時閉鎖し、600人近くの予約がキャンセルとなったが、この影響がなければ、さらに稼働率は上がったとみられる。

ふるさと企画舎は、天然岩の滑り台や、ヤマモモのジャム作りなど、地元の自然を生かした体験プログラムを充実させてきた。マネジャーの森本真理さん（41）によると、「どうやって遊ぶんでいいかわからない人たちに遊び方を提案し、好評を博している」という。また、利用客のニーズに合わせ、ライフジャケットや水中を観察するための箱眼鏡のレンタルも行っている。今年の夏休みも、週末はすでに予約がいっぱいの状態で、その多くが県外のリピーターだ。紀北町は「NPOならではのきめ細かい対応が、人気につながっているのではないか」と話している。